

NTT労組・退職者の会 大阪支部協会報

2002-2号(通算24号) 2003年2月15日

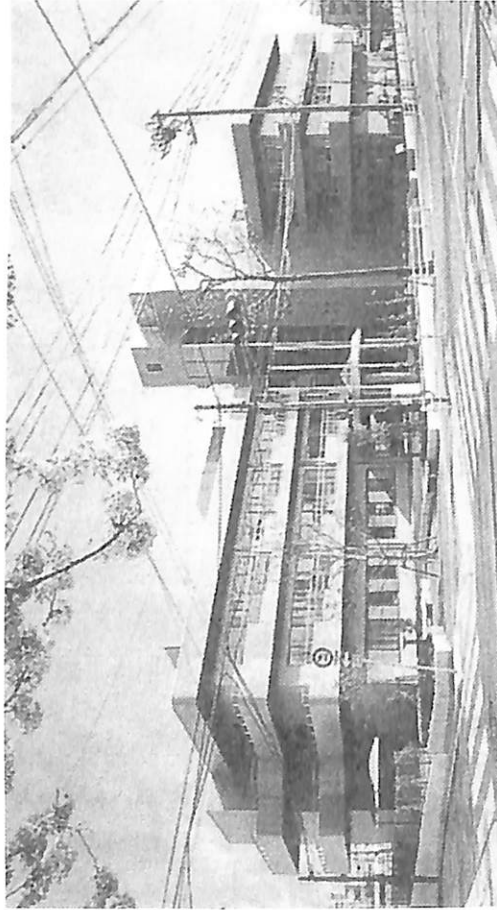
大河泉

NTT労組退職者の会・大阪支部協議会
発行責任者 鷲谷 豊
編集責任者 小林 保
〒553-0003
大阪市福島区福島3丁目1-73 コミュニティプラザ大阪内
Tel. (06) 6451-8100
Fax. (06) 6344-9382

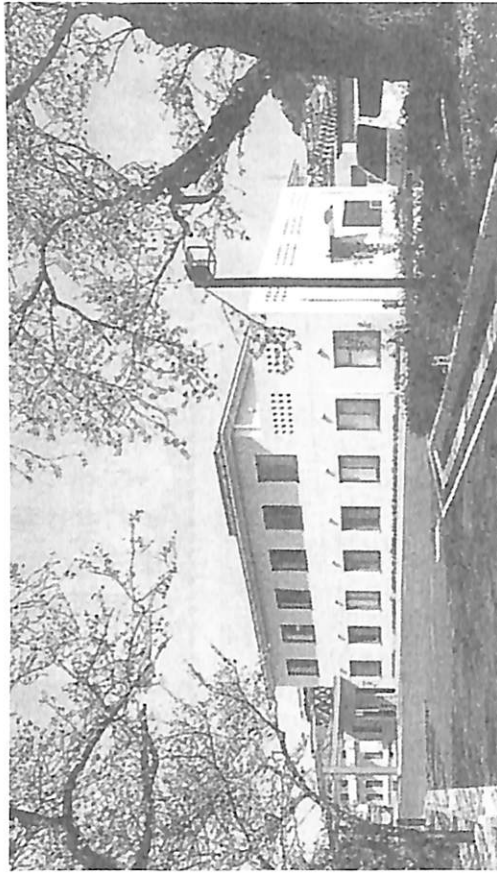
美しく健康、生涯いきいき

紙面から

ボランティア案内.....	2
大阪総支部だより.....	2
会員のひろば.....	2
地方行政特集(1).....	3
地方行政特集(2).....	4
いきいき講座募集・各行事案内.....	5
囲碁大会結果.....	5
社交ダンス案内.....	5
人の動き.....	5
各ブロックだより.....	6



特別養護老人ホーム「あいはいハート須磨」



知的障害者総合福祉施設「愛の家」

今年も愛のカンパにご協力を

カンパの寄贈先社会福祉法人
全電通近畿社会福祉事業団とは
カンパ金は社会福祉法人「全電通近畿社会福祉事業団」に寄贈致します。社会福祉事業団はカンパなどの寄付金(昨年度は五八〇〇万円余)、あいハート須磨への介護保険収入、公的補助金などで知的障害者総合福祉施設「愛の家」特別養護老人ホーム「あいハート須磨」の事業運営や、施設の拡充などを行っており、昨年度は「淡輪学園愛の家」を知的障害者総合福祉施設「愛の家」として総工費七億一千六百万円で改築し新しいスタートをさせました。
また、平成一四年度には事業団の改造・経営改革の課題や、町で知的障害者通所授産施設「工房みさき」の創設事業等に取り組んでいます。

毎年千人余の会員が
百万円余
大阪支部協が発足以来継続している愛のカンパは、毎年千名以上の会員が百万を超えるカンパを寄贈されています。本年も左記のとおりカンパを募りますのでご協力をお願い致します。

送金は同封の郵便振込用紙で

送金は同封の郵便局の振込用紙にカンパ口数(1口千円)金額を記入の上ご送金下さい。なお締め切りは4月末と致します。

愛の家のボランティアへのお誘い

退職者の会大阪支部協
泉州ブロック



作業内容

- ◎草刈りなどの屋外作業
- ◎屋内・外での清掃作業
- ◎紙すきなど工房での利用者との共同作業

作業日

毎月第一水曜日と
第三土曜日

午前一〇時～一二時
責任者が現地でお待ちしています。

担当

廣道 襄
〒090-1445-4388
荒木 範之 中本 邦一
鍛冶 良一 藤原 秀
芳田三七男

押し花ボランティア

- ①自宅で作成して、毎月愛の家に届けています。
- ②毎週火・木曜日の午後、愛の家では押し花のしおりの作成作業をしていますのでご参加下さい。

担当 淡田照子 ☎090-2100-5758
細杖純子 行廣昭子 河霜昭子
中村しげ子 源 勝子

訪問ボランティア

作業内容

- ◎草刈りなどの屋外作業
- ◎屋内・外での清掃作業
- ◎紙すきなど工房での利用者との共同作業

作業日

毎月第一水曜日と
第三土曜日

午前一〇時～一二時
責任者が現地でお待ちしています。

担当

廣道 襄
〒090-1445-4388
荒木 範之 中本 邦一
鍛冶 良一 藤原 秀
芳田三七男

ラケットを鉄に持ち替えて テニスサークル

昨年の夏にも、行きましたが今年も、春・秋の二回有志を募り愛の家にいく予定で、計画中です。
昨年は猛暑の中、テニスをした後草刈りを行ったため、かなりバテバテでした。中腰の草刈りは、テニスで走り回るよりも、大変な重労働でした。お近くのご夫婦の方でしょうか、「少し時間があるたので草刈りに来ましたが、二人ではとても進みませんわ」と言いながら、頑張っておられました。
雑草も、小さな時に抜いておけば背丈ほどに伸びることもないのですが、それが出来ないところに問題があるのかもしれません。利用者の人が通るのですがなかなか声をかけるきっかけがつかめません。黄色いテニスボールを仲間同士で打ち合うように、心が通じあえばいいのですが。そのうち、なにか、わかるものがでてくると思っています。

はつらつ農園がっくす



はつらつ農園を開園

愛の家の西側に、約八〇坪・一六畝の「はつらつ農園」を開墾した。はつらつ農園は、愛の家の利用者とともに共同作業をしながら、ふれあいを深め、収穫した作物(じゃがいも・さつまいも・たまねぎ)は、愛の家での食堂の材料として、また残ったものは、販売・換金をして施設の運営資金に充当する。

愛の芽がめばえ、育み、そして、愛の実が実るよう、みなさんのご参加を待っております。

- 2月 ジャガイモ植え付け
- 6月 収穫祭
- さつまいも植え付け
- 10月 収穫祭
- 11月 たまねぎ植え付け
- 1月 収穫祭

担当

鍛冶 良一
☎0724-63-8863
谷口 勝 辻林 正好
山田 忠夫 芳田三七男

喜びを体で表してくれた

淡田 照子

泉州ブロック発足、初めてのボランティアは雨のなかでした。一二月四日、午前一〇時から一二時の短い時間の中、一八名の参加者でほのぼのとした空気を吸うことができました。

牛乳パックを紙すきにするまでの手伝いで、2名が参加しました。作業の中味より、相手の子との対話をどうすればよいのか、どのように手助けをすればスムーズに仕事はかどるのかなど、考えながらのぎこちない私たちでした。

そんな中、うまく手作業が進んでいくと、声を発して喜びを体で表してくれた時、私たちもうれしくなり、温かなものを感じました。私の手と腕をとって作業の手ほどきを教えてくれたM君、ありがとう。また、有機肥料作りや、木工のお手伝いに各一人ずつ、そして、利用者の個室や、食堂の清掃、園内の草引きなどに四名がこころよい汗を流すことができました。

お昼には、利用者みなさんと一緒にお食事をいただきふれあいを大切にすることができました。その後、イモ畑を見て、次回の参加を楽しみに各自満たされた気持ちで、帰路につきました。

高退連が愛の家訪問見学

一月二四日、連合大阪高齢・退職者の会幹事会の幹事二五名(女性二名)が、私達退職者の会も日常のボランティアなどで応援、後援している「愛の家」を訪問しました。

まずビデオで全電通近畿社会福祉事業団四〇年の歩み「愛の家」の生い立ちを紹介し、伊藤施設長から他労組の協力、地域との関わりにも触れた詳細な説明で活動の実態についてレクチャーを受けました。見学は二班に分かれ、普通の生活に近づける暮らしを重視した環境の室内、作業中の工房をそれぞれの説明で廻りました。その中で障害を持つ方たちの実情、手助けする職員の献身的な仕事振りに接する機会を持ちました。最後に我が泉州ブロックの春の作業を待つ「はつらつ農園」を見て終わりました。さらに入居者と同じ昼食を同様の雰囲気の中で食事し解散しました。この訪問が福祉に取り組む福祉事業団とN.T.T.労組に一層の理解を求めることとなりました。

ボランティア物資はどこへ寄贈されるの

大阪支部協では以前から古切手等物資の寄贈ボランティア運動も行っています。これらの物資は左の表の内容で活用されています。

註 アルミ缶のツメ収集は廃止いたします。

何	を	何 処 へ	ど の よ う に	何 につ か う の か
切手(使用済み) プリペイドカード(使用済み)	(社団)日本キリスト教 海外医療協力会 ☎06-6359-7277 (大阪・北・茶屋町)	切手収集家へ10kの箱 詰めにして、換金	アジアの医療協力に使用 カンボジア・バングラデシュ・タイ・カンボ へ医療従事者を派遣し、その医療活動 の費用に充当	
テレホンカード(使用済み) オレンジカード(使用済み) ハイウェイカード(使用済み)	大阪市シルバーボラン ティアセンター ☎06-6632-4761 (大阪・浪速・日本橋)	収集家による換金	アジアの医療従事者の派遣費用に充当 ネパール・バングラデシュ・タイ・カンボ ジアの4カ国への8名の医療従事者の 活動に充当	
牛乳パック 石鹸・タオル	愛の家	利用者が和紙に再生 愛の家で	はがき・しおりにして商品として販売 入園者に使用	
ベルマーク	ベルマーク財団	点数に応じ品物に還元	車椅子等の寄贈	

参考 バングラデシュ：水害による感染症・栄養失調など乳幼児の死亡率が高い。
ネパール：ヒマラヤ山脈を有するこの国は、交通機関未発達のため医療機関を受けるのが困難。
カンボジア：戦争の痛手で栄養失調や病気で死ぬ乳幼児が多い。

大阪総支部だより

「今や戦後は終わった」と言われたのは、大戦後の退廃・混乱から国民こぞつての努力によりようやく復興・安定の兆しが見えだした一九五五(昭三〇)年。それから一〇年間は一九六五(昭四〇)年以降の高度成長を控えた我が国の基盤整備の時期でもあった。

政治や大衆運動・労働運動など、社会運動全般的に高揚期であったが、そんな世相の中『政治家東田保(とうだ たもつ)』が誕生した。

一九五九(昭三四)年、全電通布施分会分会長(当時)を務めた東田保氏が、弱冠二七歳で河

内市議員選挙(当時)にチャレンジ、以来、同職を二期務めた後、府議会議員に初当選し、今日まで府議会連続九期というキャリアを積み重ねてきた。

その東田保府会議員が、この春の任期満了をもって議員通算一期・四四年の政治活動にピリオドを打つことを、去る一月二一日の

東田府議の勇退

「同議員後援会新春互礼会」の場で表明した。

東田議員は、「議員になつての数日は、河内の名が示すとおり治水対策の連続で、住民・勤労者のための行政施策を着実に実施させる一方で、平和・人権を守る政治家としての基本姿勢を終始貫きえ

たところが私にとつての自信であり、自慢である」とした上で「今年で七二歳、一市民としての健康状態には何ら問題ないが、議員として責任ある激務を全うする上ではいささかの支障も感じる。余力のある今こそ後進に道を譲るべきと判断した」と心境を披瀝、大田房江知事ら来賓各位をはじめ参加者一同から惜しめない拍手が送られた。

なお、後継候補者として現職大阪市会議員の「かけはし 信勝」さんが立候補準備を進めており、大阪総支部では「かけはし予定候補の当選をもってバトンタッチが完了、同氏の当選こそが東田議員の出身組織としての責務」との認識で、組織内重点候補に次ぐ必勝体制の準備を進めている。

ハーモニカでのボランティア

島本 壽義(北摂)

N.T.T.労働組合「退職者の会」のみなさまにはお健やかに新春を迎えられた事とお慶び申し上げます。

私はお陰様で本日「喜寿」の日を迎え、この度「退職者の会」から記念のお祝いを戴いて幸甚に存じます。

顧みますと青年時代は兵役こそ免れたものの、あの苦い戦争をくぐり抜けた後、通信省に採用されて電気通信省、電電公社、N.T.T.と四代の流れを歩んできて、今はフリーの身を生かしたハーモニカによるボランティア活動にあたっています。

高齢者の集いや文化祭で懐かしいメロディを奏でると、昔懐かしいリードの響きに大変喜ばれ、忘れかけた昔を想い出されて口ずさみ、中には涙を浮かべる人もおられます。

元来が音楽好きでしたから、ハーモニカ指導員の資格を取得して公民館で愛好者と楽しい一刻を過ごしています。

玩具と軽視されるハーモニカも技を磨くと確かな楽器に変身します。いつまで続くか判らないこの命を、生涯に懸けたこの趣味を、次の川柳にしたためて筆を置きます。

ハーモニカ

吹けるあいだは まだ青春

文 芸

早春散歩 短歌二首

香川 重光(なにわ)

孤かぶり 寒さこらえて 寒ボタン
春のめざめや 可憐に咲きて

早春の やわらかき日々 時もなし
三色すみれ 光かがやき

あなたの街を住みよくするために

あなたは今どこにお住みですか。あなたの街は住みやすいですか。あなたが関心があるなにかかわらず、市町村の行政が大きな影響を与えています。その行政を左右するのが議会の運営であり、議会を構成する議員であることは言うまでもありません。その議員を選ぶ地方統一選挙がこの4月におこなわれます。大阪支部協では大阪府下のN T T労働組

内候補の3名を支持することを10月の定期総会で決めました。しかし、会員の皆さんに支持していただくには、単に組織内候補だからだけではというのでなく、この3名が地方行政について何が問題か、またどうあるべきか、私達退職者の関心である問題についても知ってもらうことが必要と考え、3名の方に寄稿を依頼しました。

国の改悪で影響を受ける

大阪府の福祉財政



大阪府会議員（住之江区選出）

はんだ 實

退職者の会の皆さんにはご支援をいただき厚くお礼申し上げます。1991年大阪府議会議員に初当選し退職し、早いもので3期12年がたちました。これも皆さん方の支えがあって今日まで来れましたことと感謝しています。

大阪府の行政についての問題は多くありますが、紙面の関係もあり、大阪府の福祉医療制度と、議会での活動等について記して見ました。4月13日には、暖かいご支援をお願い致します。

国の改悪で影響を受ける大阪府の福祉医療制度について

1 福祉医療制度は、年齢や一定の条件を付け、医療費の本人負担分を助成する制度です。実施の主体は市町村で、老人、障害者、母子家庭、乳幼児の四つの医療費助成を行っておりこのうち大阪府は、大阪市に対して2分の1、市町村については5分の3を助成しています。

[府・市町村合計]

		(単位:億円)						
		13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	
国 改 正 前	老 人	252	242	232	244	274	309	
	障 害 者	105	113	119	125	131	138	
	母子家庭	44	47	50	54	58	62	
	乳 幼 児	50	79	87	95	103	113	
計		451	481	488	518	567	622	
国 改 正 後	老 人		245	254	270	305	346	
	障 害 者		115	125	132	139	146	
	母子家庭		47	57	62	66	71	
	乳 幼 児		72	68	74	82	90	
計			478	504	538	592	653	
差	老 人		3	22	26	31	37	
	障 害 者		2	7	7	8	9	
	母子家庭		0		8	8		
	乳 幼 児		▲8	▲19	▲21	▲21	▲23	
引	計		▲3	16	20	26	32	
	13年度実績との差		27	53	87	141	202	
累 計				80	167	308	510	

統一地方自治体選挙を

現退一致で勝利しよう

大阪支部協議会 会長 鷺 谷 憲

会員の皆様、お健やかに2003年をお迎えの事とお慶び申し上げます。昨年は低迷を続ける経済不況の中、小泉内閣は、私たちの強い反対にもかかわらず、医療制度の抜本改革もなく、医療費のみの引き上げを実施しました。本年度は更に、物価水準の下落を理由に年金の給付を切り下げようとしています。恰好のいい言葉は言うのですが、現実には政治革命や構造革命は一向に進んでいないし、景気回復のギザシも見えない状態で、リストラ、賃下げ、年金の切下げ、課税最低限の引き上げ、社会保障の改悪だけが進められようとしています。それでも小泉内閣の支持率だけは高いという異常な現状です。

私達は、暮らしと安全、安心を守るためにも次の総選挙では小泉内閣を打倒せねばなりません。本年4月にはその前哨戦とも言えるべき、統

② 国が、本人の負担を増やす医療費の改正を行うと、大阪府や、市町村は福祉医療費の助成費用が増えて、財政的に大きな影響を受けています。

③ 国は昨年（平成14年10月）医療費の改正を行いました。

内容の概略

◎69歳以下の自己負担限度額の引き上げ

上位所得者 121,800円→139,800円

一 般 63,600円→ 72,800円

低所得者 35,400円→ 据え置き

◎70歳以上の負担額

定額850円→定率1割

一定以上の所得者は2割

限度額 3,200円→12,000円

入院の場合の限度額 3,200～5,300円→37,200円

老人保健の対象年齢が段階的（5年間かけて70歳から75歳）に引き上げられます。

◎3歳未満の乳幼児の自己負担を3割から2割にする（軽減）

◎今年4月から3～69歳について社会保険本人の通院、家族の入院を2割から3割負担となる。

④ 以上のように、国が医療費の自己負担を増額したことによる、大阪府や市町村の助成負担額の増加額を試算しました。（図参照）

⑤ 国の改悪によって個人の医療費の負担が増額しました。信頼され、て安心のできる医療制度にしなければなりません。そのためには、医療費の情報公開を進め、社会制度として確立すべきです。

大阪府や市町村は、国の改悪によって大きな影響を受ける、福祉医療制度をどのように続けていくのか、今後の大きな課題になると思っています。

この1年間で議会で取り上げ実現した項目

① 福祉のまちづくり条例の改正

② 公立高校の転入制度の確立

③ クリエイティブスクールの実施

④ 入試問題の改善

⑤ 奨学金の改善

⑥ 食肉の安全対策（産地名の表示等JAS法の改善）

⑦ 入札制度に対する厳格なチェックと下請け業者の保護

⑧ 府営住宅の改善（エレベータの無い府営住宅にエレベータの設置）

⑨ 雇用対策の強化等

その他にも多くの課題を取り上げてきました。

一地方自治体選挙が実施されます。退職者の会としては、現退一致でこの地方選挙に勝利するよう闘かいたいと考えています。個々人にとっては、居住地でのN T T労働組推薦候補に投票することが原点ですが、会組織としてはN T T労働組の組織内候補の勝利にむけて、出来るかぎりの行動、支援をしていきたいと考えています。

具体的には、大阪住之江選挙区の大阪府議会議員のはんだ實君、大阪港選挙区の大阪市議会議員のおくの正美君、堺市選挙区の堺市議会議員の中井くにより君の必勝にむけて取組を強化したいと考えていますので会員皆様方のご支援を心よりお願いする次第です。

大阪支部協議会の組織は昨年職域ブロックから地域ブロックへ移行しました。地域で一人でも多くの仲間が集まれるような行事や、集会を計画し交流を深め住みよい街づくりに力を合わせるようにしていきたいものです。皆さんが永年にわたって培った人脈や、知識をこれらの活動に生かして頂きたいとおもっています。

統一地方自治体選挙では、退職者パワーを発揮しようではありませんか。頑張りますよう。

ふれあいと やすらぎと輝きの街へ 2003年春の戦いに臨む



大阪市会 議員 (港区選出)

おくの 正美

雪の果 山の日あたる 障子かな 龍雨

N T T退職者の会・先輩の皆様、さらにご家族・友人の方々、いかがお過ごしですか。日頃のお支えに深く感謝を申し上げます。

いよいよ今年の春（第1陣・4月4日告示・4月13日投票）は4年に1度の地方自治体選挙の年であります。

～夢は港から咲かそう～「ふれあい」と「やすらぎ」と輝きの街へ今回、5期目の選挙戦に臨む私のキャッチフレーズです。

私の選挙区（大阪市港区）の高齢化率は16.8パーセントで、高齢化社会と言われる14パーセントを超えています。高齢者が安心して住み慣れた町に住み続けることができる地域づくりは重要課題であります。

地域に居住している人々にとって、高齢化社会を健やかに生きていくために病氣などを予防し、健康を維持していくこと、そして出来る限り自立して自分らしい生活を営むことは切なる願いです。

そのためには、立地する医療・福祉施設と専門家のネットワークを強化し、いつでも、誰でも、どこでも適切な医療・福祉サービスを受

健やかな長寿世代を生きる為に 介護保険の大切な役割



堺市会議員

中井 くによし

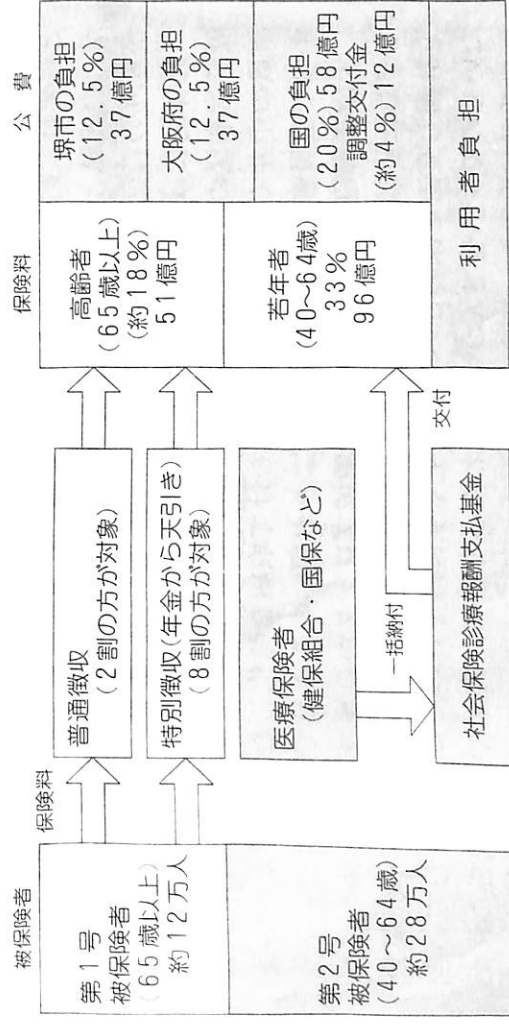
21世紀社会は高齢社会とも云われ高齢化率17パーセントを越え今世紀の半ばには、およそ3人に一人が65歳以上と云われています。長寿社会は人類の悲願でもあります。それは健康で健やかな生活を楽しめること願っているものであります。

現実に残念なことには健康を崩し、病院での長期生活や痴呆状態になりご家族が悲鳴を上げておられるようなケースも多くあります。ある

■ 介護保険制度の財源は

介護保険制度では、財源の約半分を40歳以上の方が保険料として負担し、残りの額を、堺市や国・府が公費で負担します。

介護保険制度の財源（14年度給付費概算約291億円）



・高齢者の保険料は、実際には12年度～14年度の3年間の給付費をもとに決められます。
・堺市の調整交付金は、後期高齢者が全国平均より少ないため、約4%となります。
・介護保険制度に必要な財源としては、この他に事務費や財政安定化基金拠出金などがあります。

けられることが大切です。

さらに、自立を支え合う地域社会のつながりを再構築し、豊かで温かい人の輪の中で、お互いの人格を尊重しつつ暮らしていくことが求められています。

ハードのまちづくりでは、町の隅々までバリアフリー（障壁の除去）化が進み、住む人誰もが快適に外に出かけ、まちの空気に触れ、人々に会い、買い物や娯楽・趣味を楽しむことを享受できなくてはなりません。そこでは地域資源を生かした憩いの空間づくりが重要です。

そしてまちの特性を最大限引き出すためには、人と人とのつながりを強め、人々の知恵と技から生み出される創意工夫を大切にし、気軽さ・気さくさの中に個性が輝くまちづくりを進めていくことが重要だと考えています。

これらの課題を踏まえたまちづくり施策の方向性は、「やすらぎ」「ふれあい」「輝き」を醸成していくことだと考えています。

3年前に制度化された介護保険制度の究極の目的も、寝たきり“0”を目指し、元気で生きがいを持って長生きできる社会作りの第1歩の制度なのだからです。

さらに、是非、ひ孫の代を視野に、お力を発揮していただければと考えています。

港の未来をひらくまちづくりは

人間にかぎらずやさしいまじしものもとで

～夢は港から咲かそう～

「港」ふれあいとやすらぎと輝きの街へ

あなたと共に

特別養護ホームに入所待ちの方が約300人おられると聞かされました。

介護保険あってサービス不足が議会でも厳しく指摘されているところです。今から10数年前には、要介護高齢者へのサービスは殆どなく、家族の肩に介護が重くのしかかっていました。介護保険は、高齢者の介護を家庭から社会的介護へ大きく転換させたものであり、社会保障制度の柱として位置づけられています。さて、運営していくための財源はどの様になっているのでしょうか？堺市の例ですが仕組みは同じです。3年間の介護保険使用実績を基に、次の3年間の保険料が決める仕組みになっていますので、1割負担で安いからと、必要以上にサービス利用しますと3年後の保険料見直し時に保険料が高くなる仕組みです。当然のことですが、保険料は自治体毎に違います。高齢者の皆さん方が、長生きして良かったと感じて頂ける社会を築くために、頑張りたいと存じます。ご支援よろしく願います。なお、私のホームベージは「中井くによし」で検索できます。是非ともご意見をメール等で寄せて頂ければとおまっています。

(1) 要介護度別の状態像と限度額（在宅サービス）

要介護度	身体の状態	サービス水準	平均利用限度額(円/月)
要 支 援	日常生活の能力は基本的にはあるが、入浴などに一部介助が必要。	週2回の通所リハビリテーションが利用できる水準。	62,400
要介護度1	立上りや歩行が不安定。排泄、入浴などで一部介助が必要。	毎日何らかのサービスが利用できる水準。	169,000
要介護度2	起き上がりや自力では困難。排泄、入浴などで一部または全介助が必要。	週3回の通所リハビリテーション又は通所介護を含めて、毎日何らかのサービスが利用できる水準。	198,500
要介護度3	起き上がり、搬送が自力ではできない。排泄、入浴、衣服の着脱の行為で全介助が必要。	夜間の巡回訪問介護を含め、1日2回のサービスが利用できる水準。	272,700
要介護度4	排泄、入浴、衣服の着脱など、多くの行為で全介助が必要。	夜間の巡回介護を含め1日2～3回のサービス利用が可能。病室では週回の通所リハビリを含め毎日利用できる水準。	312,000
要介護度5	生活全般について全介助が必要。	早期、夜間の巡回訪問介護を含め、1日3～4回のサービスが利用できる水準。	365,400

注) 1 平均利用額は告示された介護報酬に基づき厚生労働省が示したものです。
2 平成15年度から介護報酬が改定され「平均利用限度額」「居宅サービス費区分」の数値が変更になります。

いざいざ講座会員募集

今年度のいざいざ講座は昨年度より3回増やし8回としました。また屋外講座も企画してみました。なお受講料は回数増もあり、4,000円といたしました。講座内容や講師については昨年度の講座のアンケートと昨年度の講座の班長会議での意見を参照しました。会員の応募をお待ちしています。

- ◎と き 3月から10月までの毎月第3水曜日
屋内講座 13時30分～16時30分
屋外講座 10時00分～16時30分
- ◎と ころ 第1回以外の屋内講座は
コンボ大阪3階大ホール
- ◎定 員 100名(先着順)
- ◎受 講 費 年会費 4,000円
(開校時に受付でお支払い下さい)
- ◎申し込み 電話で大阪支部協へ
☎06-6451-8100
- 申し込み締め切りは2月28日16時
- ◎受講生には受講票(ハガキ)を送付します。
- ◎公開講座は(会費500円)その都度徴収します。
- ◎内容等変更することもありますのでご了承下さい。

3月19日	開校式・オリエンテーション(記念品贈呈) 講座「大阪の歴史」講師 大阪天満宮文化研究所 近江 晴子氏 講座後懇親会 会費3,000円(参加者のみ) 場所コンボ6階鶴・亀
4月16日 (公開講座)	屋外講座「自然との共生」講師 NPO 石原 忠一氏 場所未定
5月21日	第1講座「中高年の健康」講師 電近幾元監督 原田 富士雄氏 第2講座「生涯発達のための教養」大阪産業大学学長 瀬島 順一郎氏
6月18日	第1講座「中高年病の予防」講師 医誠会病院循環器科部長 白坂 明広氏 第2講座「中高年の健康体操」講師 五本上 清美氏
7月16日	第1講座「ボランティアの心得」講師 河内長野市視覚障害者協会 会長 田村英雄氏 第2講座「日本の経済」講師 大阪産業大学教授 勝田 正白氏
8月20日 (公開講座)	第1講座「時事問題」講師 参議院議員 内藤正光氏 第2講座「古代史」講師 京都府SKY大学 山本 真嗣氏
9月17日	屋外講座「高槻古墳の散策」講師 高槻市教育委員会ボランティア
10月15日 (公開講座)	演芸「落語と浪曲」 終了式 懇親会 会費3,000円(参加者のみ)

サントリーウイスキー工場見学

香り高きウイスキー工場の見学です。
もちろん試飲もあります。また、山崎美術館も見学されては?

3月11日(火) 午後2時

阪急大山崎駅集合

申し込み 2月28日までに支部協へ電話で
☎06-6451-8100
(北摂ブロックがお世話します)



社交ダンスへのお誘い

今流行の社交ダンスのサークルの会員を募集しています。
毎月 第1・3金曜 午後3時30分より5時まで
会費 月3,000円
場所 守口コンミスポーツ(旧守口ハロースポーツ)
希望者は 世話役 支部協幹事
田伏ノブ子まで ☎072-8222-6868
090-8936-6846



人の動き

新しい仲間です		ご冥福をお祈りします (14年10月から15年1月)	
森島久美子	細田 隆	長田 正治	吉坂千賀子
永田 喜三	津田 忠良	坂本美代子	高松 憲一
上山 悦雄	北垣 昇	長岡 興一	辻本 将
		吉田常三郎	久井清一郎
		北田 茂	



第9回囲碁大会の結果

囲碁サークルの第9回新春囲碁大会は、1月10日午前10時から
コンボ退職者サロンで20名が参加し行われました。
成績は以下のとおりでした。

Aクラス		優勝 弘田 秀夫	
2位	木船 一男	3位	浜口 常蔵
Bクラス		優勝 松山 誼数	
2位	井口 義久	3位	田宮 勇



第43回 ゴルフコンペ (ノースリバー会)

3月27日(木) 9時03分
OUT・IN同時スタート

場 所 光丘カントリー倶楽部
富田林新堂2258-1
☎0721-24-0844

定 員 先着40名(10組)
プレー費 9,800円 税別(昼食・売店等は別)
参加費 3,000円
申し込み 2月26日午後4時までに支部協へ電話で

☎06-6451-8100
セルフプレー歩き、シューズはソフトシューズでの制約



五周年記念行事の海外旅行
五周年記念行事として韓国の慶州釜山への
海外旅行を六月に実施します。
詳細は次号で。

泉州ブロック

実行力と行動力と愛のある活動をめざして

1. 愛の家ボランティア活動について

- ①愛の家の畑の一部を借りて、「はつらつ」農園（南部キミ子会員命名）を開園、ジャガイモ・さつまいもタマネギ栽培します。お手伝い下さい。
- ②訪問ボランティアは、毎月第一水曜日と第3土曜日、午前10時～12時、責任者が待っていますので、ご自由にご参加下さい。12月は、24名が参加、毎月25名程度が参加予定。
- ③押し花作成は、7名の会員が毎月各自・自宅で作成し愛の家に運んでいます。これを使って毎週火・木曜日の午後に愛の家で「押し花しおり」の作成作業をしていますので、お好きな日にお越し下さい。
- ④エレクトーン2台と文房具用品段ボールに6箱分をテニススクール会員の村上雅昭さんと岩谷正成さんから寄贈されました。役立つ物があればご連絡下さい。

★ボランティア連絡先 本号、別ページに掲載

2. 会報「摂河泉OB」手配りの地域追加

泉南市在住の一部の人に会報「摂河泉OB」の手配りを追加実施します。現在岸和田市と泉佐野市の一部で実施中。すこしでもふれあいの場を作っていきます。

3. レク関係を企画中です

カラオケ（4月と8月）、ハイキング牛滝・いよやかの里方面（5月）、岸和田だんだんじり会館等を含めた社会見学（9月）、泉州ブロック全会員に呼びかけた大交流集会の開催（10月）

サークル会員の募集

- テニスサークル 毎週火・金・土・日曜日 年会費1,500円
NTT和泉テニスコートにて 連絡先 畑江 武 ☎072-297-1229
廣道 襄 ☎090-1445-4388
- 書道 毎月第2・4月曜日 入会金1,000円 月会費2,000円
連絡先 神田トミ子 ☎072-245-6162 会場：師範宅

なにわブロック

J R 旧福知山線廃線跡
～武田尾ハイキング

5月14日（水）午前10時

J R宝塚線生瀬駅集合

行程 生瀬駅→廃線跡→武庫川上流溪谷→武田尾温泉
約2時間、6キロ(昼食)㊤旅館前食堂周辺
うどん、カレーライス、おでん等軽食あり
服装・持ち物 廃線跡の砂利道を歩ける靴、軽装、帽子、
懐中電灯、雨具、弁当、水筒
雨天の場合 兵庫南部前夜天気予報40%以上中止
申し込み 4月30日午後4時までに支部協へ電話で
☎06-6451-8100
定員 なし、他ブロック会員も歓迎
交通費 自己負担
希望者は各人で武田尾温泉入浴 入浴料1,000円

その他の当面の行事予定（詳細は次号で）

- 7月 天神祭見学と納涼大会（ブロック会員の懇親会）
- 8月 水上バスと「住まいのミュージアム」見学（天六）
- 11月 池田「不死王閣」で昼食と温泉日帰りの旅

河内ブロック

行事予定と担当を決定

12月12日に開催しました第1回ブロック委員会で、河内ブロックの行事予定及び行事担当を以下のとおり決定しました。

各行事については詳細がきまり次第、会報を通じてお知らせしますので、多くのご参加をお願い致します。

- ◎ 社会見学については、ビール工場、酒蔵見学を企画
- ◎ 日帰りバスツアーは5月上旬に新緑と温泉地へ
- ◎ ハイキングは私市方面と、河内長野のミカン狩りを企画
- ◎ 10月頃にブロック会員の懇親会を企画

行事担当

日帰りバスレク

担当責任者 田伏 ノブ子
担当者 厨子 芳枝、石躍美智子、 原田 雅文、今川 清

社会見学

担当責任者 加戸 幸男
担当者 仲宗根 功、中矢 百合子、小野美枝子、前田 亘子

ハイキング

担当責任者 田中 康夫
担当者 平坂 隆吉、香呂トシ子、武田 康子、野上 昭彦

ボランティア活動

田中 事務長
担当者会議はブロック長、事務長、副ブロック長、会計は補佐することとする

北摂ブロック

行事予定と総会呼びかけ
ハガキでの会員の現況

12月17日の第1回ブロック委員会以下行事予定を決めました。

- 1. 3月11日 サントリウウイスキ工場見学（詳細は5面に記載）
- 2. 5月 ハイキング（五月山方面）
- 3. 7月 アサヒビール工場（吹田）見学
- 4. 11月 ハイキング（紅葉狩り・場所未定）

注：2～4については、その都度この欄で呼びかけます。

結成総会呼びかけ時に返信ハガキによる会員さんの現況

（送付された方のみ資料なので全体ではありません）

- 1 病気がち（入院・通院含む）96人
- 2 家族介護等に携わっている人11人
- 3 仕事に携わっている人（アルバイト含む）80人
- 4 ボランティア活動6人
- 5 その他（元気な人等）663人
- 合 計 856人

北摂ブロックの世話をするブロック役員の方々は下記のとおりです。

佐々木照子・草薙敏子・幸田幾子・小山 章・谷口次作・茶谷博司
中田かよ子・西野一鋪・前中良介・宮田信子・森下英子・門口忠敏
宮本扶美子・藪内 翠・山本長重・山本壽雄・山本光春・渡辺ユキエ
東久保忠子・中辻千代子・吉田 清・松本 喬・橋本智恵子

【編集後記】

末年の今年最初の会報です。さっぱり良いニュースがないままに二月も半ばになりました。春の香りに乗って明るい話題を期待しているところです。

学習交流会「いきいき講座」のスケジュールのおおよそが決定しています。健康、環境などはテーマとして外せません。昨年会場を緑で溢れさせた「自然と共生」が古墳の散策と共に、時期も良く屋外学習として実施されます。

今年は四月に統一地方自治体選挙があります。大阪支部協のエリアでは三人の組織内現職議員が挑戦します。特集の頁で福祉を主にそれぞれ寄稿を依頼しました。支部協も精一杯の支援をします。選挙区市にお知り合いのある方のご協力を是非お願いします。さらに奈良、西宮そして各地域に在住の会員の皆様に組織推薦の候補に絶大なご支持をよろしく願う次第です。これからは地方自治の時代と言われます。景気の低迷、経済不況など逼塞したこの時を変えて行くためにも、新しい地方政治の確立が求められます。年金も物価スライドによる減額が確定的になっています。すべてが負担の増大と給付の削減を狙っているようです。暮らしの基本の諸制度を守る活動を続けます。

各ブロックの企画が年間計画の中に出てきました。トッパは二月の泉州ブロックの観梅バスツアーです。季節によつては選択に迷うこともありそうです。交流の輪が一層広がることを期待しています。

それにしてもこの冬は寒い毎日です。マフラーが必需品になりました。暖冬の予言に園芸家が霜柱の盆栽を手クレームをつけていました。でもプロ野球のキャンプも始まりました。雨水、啓蟄と春はすぐそこです。今年も摂河泉OBにご支援を願います。